

癒されました

武庫東中学校の合唱コンクールに行ってきました。時間の関係で1年生しか聞けませんでした。よくがんばっていました。遠くからでしたが懐かしい顔もたくさん見えてうれしく思いました。ところで、校長先生がはじめの言葉のなかでこんなことをおっしゃいました。

「今日が近づくにつれて、運動場や廊下などいろいろなところからきれいな歌声が聞こえて来ました。校長室で仕事をしていても、とてもいい気持ちになって、仕事がどんどんはかどっていきました。毎日がこんな学校だったらいいなあと思いました。」

まったく同感でした。音楽室からきれいな歌声が聞こえてくると、ホッとします。心が癒されます。子どもたち自身も心が安らぐだろうと思います。今から、そんな歌声を聞きに音楽室へ行きます。

校長室の秘密

先日から4年生が次々に校長室を訪れています。国語の学習のなかに「仕事リーフレットをつくろう」という単元があって、私にインタビューをさせてほしいというものでした。

「どうやって校長先生になったのですか？」

「私たちが勉強しているとき、校長先生は何をしているのですか？」

「校長先生はだれと仕事をしているのですか？」

「仲のいい先生はいますか？」

なかなか回答に窮する質問もあり、うろろうろしながらの15分でした。

校長室に入るのは初めてという子どもがほとんどなので、怖い所でもなんでもないので、とても緊張して入ってきます。そこで、校長室の秘密をいろいろ教えてあげることになりました。私のロッカーのなかには「お泊まりセット」が入っていることや、冷蔵庫には栄養ドリンクが入っていること、給食の時に残した古い古いジャムやピーナツバターが入っていること、愛飲しているお茶は「ヘルシア」であること、高所恐怖症であることも教えてあげました。とても喜んでそこら中の写真を撮りまくっていました。校長室は、もう怖い所ではなくなったようです。

かわいいかわいい子どもたちです。

「校長先生になって一番いいことはなんですか？」

これにはすぐ答えることができました。

「みんなとこうやって楽しい話ができることです。」

平和って・・・

6年生が総合的な学習の時間を利用して、平和に関する学習をしています。昨年に引き続き、「尼崎市原爆被害者の会」の方をお願いして、原爆についての体験を紙芝居（テレビに写しますが）にしたものを読み聞かせていただきました。

実体験のある方のお話は、穏やかに話されていても、伝わってくるものには迫力があります。子どもたちも真剣に聞き入っていました。

被害者の方は、こういった活動をもう何回もされているわけですが、それでも語りながら涙をぬぐわれる姿には胸をうたれました。原爆や戦争の恐ろしさを実感し、「平和」について考えるいい機会になったのではないのでしょうか。